

臨床研究に関するお知らせ

【研究課題名】

外来化学療法中患者の除痛率評価と薬剤師介入による改善効果

【内容】

がんと診断された患者さんの20-50%は、診断時からなんらかの痛みを訴え、その進行とともに80%近くが痛みが生じるといわれています。

そこで、現在、適切な痛み治療（疼痛治療）がどの程度行えているかを評価し、薬剤師が積極的に疼痛治療に関与することで、どのくらい改善できるかを明らかにすることを目的として、調査研究を実施します。

【対象】

2011年4月から2013年3月の期間中に、外来化学療法室において化学療法（抗がん剤治療）を行っている患者さんが対象となります。

【方法】

安静時の痛み、1日の中で1番痛い時の痛み、鎮痛薬を服用した後の痛みについて、痛みの程度を0（痛みがない）-10（今まで痛かったなかで最高または最悪な痛み）の数値で評価していただきます。鎮痛薬の処方について、電子カルテを用いて調査します。

参加を希望されない場合には、2012年3月31日までに金沢大学附属病院薬剤部 崔（さい）までお知らせください。

なお、本研究への参加は自由意思です。期間内であれば、参加を拒否・撤回することが可能です。また、これによって患者様が不利な扱いを受けることはありません。

2011年11月

金沢大学附属病院薬剤部

研究実施責任者 崔 吉道

電話 076-265-2046（直通）